

第 17 期事業年度  
(令和 2 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,619	5,827	208 (注1)	
施設整備費補助金	1,685	1,200	△ 485 (注2)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
補助金等収入	36	1,186	1,150 (注3)	
うち補正予算による追加	0	0	0	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	24,548	25,491	943	
授業料、入学金及び検定料収入	706	678	△ 28 (注4)	
附属病院収入	23,653	24,530	877 (注5)	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	189	283	94 (注6)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,266	2,550	284 (注7)	
引当金取崩	157	175	18	
長期借入金	2,186	1,552	△ 634 (注8)	
目的積立金取崩	501	3	△ 498 (注9)	
計	37,019	38,005	986	
支出				
業務費	29,523	29,698	175 (注10)	
教育研究経費	7,043	6,909	△ 134	
診療経費	22,480	22,789	309	
施設整備費	3,892	2,772	△ 1,120 (注11)	
うち施設整備費補助事業	0	0	0	
補助金等	36	1,169	1,133 (注12)	
うち設備整備費補助事業	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,266	1,600	△ 666 (注13)	
貸付金	22	21	△ 1	
長期借入金償還金	1,280	1,276	△ 4 (注14)	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	0	0	
計	37,019	36,536	△ 483	
収入-支出	0	1,469	1,469	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階に予定していなかった運営費交付金の繰越および交付により、予算額に比して決算額が208百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、翌年度補助金への繰越が生じたため、予算額に比して決算額が485百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国及び県からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が1,150百万円多額となっています。  
補助金等収入には、授業料等減免費交付金が17百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しております。
- (注4) 主として授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。
- (注5) 新規加算取得等による診療単価の向上等により、予算額に比して決算額が877百万円多額となっています。
- (注6) 主として内部保有資金取崩の増等により、予算額に比して決算額が94百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等のうち545百万円は昨年度以前に受け入れて本年度使用した金額となっています。  
また、予算段階で予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が284百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、翌年度への繰越が生じたため、予算額に比して決算額が634百万円少額となっております。
- (注9) 予算段階に予定していなかった工事の遅れにより、予算額に比して決算額が498百万円少額となっております。
- (注10) 診療経費において医療設備更新費及び直接診療費の増等により、予算額に比して決算額が175百万円多額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由等により、支出額においても予算額に比して決算額が1,120百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が1,133百万円多額となっています。
- (注13) 複数年契約等による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が666百万円少額となっています。
- (注14) 長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。